朝日地区水面利用計画整備イメージ整理図

S=1:10,000
0 25 50 100 250 500(m)

事業の進め方

●●●●●①川を利用する人はカヌー、釣り、その他さまざま。
対等なものとして事業を進めて欲しい。
●②経費をかけたらそれ以上に収入が入るように考えて事業を進めて欲しい。
維持管理は大変。

整備の方向性

●カヌー利用者（レジャー）の視点
●カヌースポーツの振興（競技）の視点
●漁場保全の視点
●地域資源（魅力）の保全の視点
●地域（観光産業）の活性化の視点

●地元活性・土地利用の視点

●町づくりの視点

◆カヌーは自然を満喫するスポーツ。過度な整備はいらない。必要最小限の不便の解消でよい。
◆朝日町は競技・レジャーカヌーの日本で屈指のゲレンデをつくれる場所。大会を誘致し、町起こしの足がかりに。
◆釣り人とカヌー利用者のトラブルがないように。
◆地域の宝、最上川の景観を壊すことの善し悪しを考え、過度な整備を避ける。町民のカヌーへの意識を高める工夫。
◆カヌー利用客・一般客両方の利便を考えた整備。多くの人が朝日町にきて、お金を落としていただくしくみを。
◆町民・カヌー利用者の双方の利用を考えた整備。人の輪に関われるしくみづくり。



看板設置・支障物の撤去・競技カヌーのゲレンデ整備・ビューポイントの整備・駐車スペースの整備・カヌーと釣りの兼ね合い

●①雪谷から玉ノ井までの区間を川下り区間として看板の設置を。
●②川の中にH鋼・テトラポット・電線があり、カヌー利用上危険。
撤去もしくは移動を。
●③カヌー利用者は水量や流れに応じて好きなところで休憩する。
カヌー利用者用の休憩スポットはいらない。
●●④大会を誘致し、競技カヌーのゲレンデ整備を。
●●⑤カヌーのビューポイントの整備を（国道278号）。
●●●⑥林道の周辺に釣りやカヌー客の駐車スペースの整備を。
●⑦区間内に釣りポイント８箇所有り。カヌーと釣りの兼ね合いは今後の課題。

朝日地区の水面利用の活性化に対する町民の意識

●①町全体がカヌーという形での沸き立つ声があがっていない。
町民・カヌー愛好家が関心をもてるような運動を起こすことが必要。
●●②一般町民のカヌーに対する意識を高める工夫として、
舟運文化の歴史を総合学習の中で学ばせるようなことも必要。

宿泊施設の整備

●●①カヌーイベントと温泉施設のタイアップ
●●②大会を誘致する際には、宿泊施設の整備が課題。民泊など。
●●③テントスペースを整備し、利用料を徴収する。

水面利用のマナー向上

●●●①釣り人とカヌー利用者のトラブルがないように。
釣り人とカヌー利用者のマナー向上。
●●②利用者が駐車場の草刈りを行う。

最上川をきれいに

●●●●●①カヌーや川遊びは水がきれいでなくてはならない。
カヌーを通して川をきれいにしていこうという運動が必要。